



第48回千葉県消費者大会を開催しました!!

2024年2月17日(土)に千葉県教育会館 203会議室において、第48回千葉県消費者大会「まったなし!気候変動と再生可能エネルギー～電気の一生を考えよう～」(主催:消費者団体千葉県連絡会、後援:千葉県、千葉市、参加者:37人)を開催しました。千葉県生協連は、消費者団体千葉県連絡会の事務局を担っています。

今回は、私たちを取り巻く環境とエネルギーの状況を学び、CO2削減の方法や電気の賢い使い方など、消費者としてできることについて考えることを目的に、前消費者委員会委員、前(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 副会長の消費生活アドバイザー 大石美奈子さんを講師に迎えて学習をおこないました。



司会:小野陽寛 監事
(千葉土建)



阿部代表幹事
(団自連)



千葉大学お笑いサークル P-RITTS

主催者である消費者団体千葉県連絡会 阿部京子代表幹事による開会挨拶の後、千葉大学お笑いサークル P-RITTS の4人が登場し、環境大喜利を披露していただきました。

会場が若い人たちのお笑いでウォーミングアップした後、大石美奈子さんによる講演に入りました。

講演「再生可能エネルギーと電力料金」

講師:消費生活アドバイザー 大石美奈子さん



講師:大石美奈子さん

◆地球温暖化と私たちの暮らし

国連 IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の2021年報告書では「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」とし、明らかに温暖化と私たち人間の活動に関連があるとされました。その後、2023年に出された第5次報告書では、もし私たちがこのまま何も対策を講じないで生活を続けた場合には、2100年には気温が2.6度から4.8度 くらい上昇するだろうと記載されました。反対に、厳しい温暖化対策を取った場合でも、やっと2100年に0.3度から1.7度上昇程度に抑え

られるのではないかとされています。最近の夏の高温化を見ても、温暖化は厳しくなっています。では、私たちの暮らしで使うエネルギーを見ると、この50年間で約2倍になっています。温暖化を進める温室効果ガスの排出量の内、6割が家庭から、その中でも住居、移動(自動車など)、食(家畜など)の順で多くなっています。温暖化による海面上昇で南方の島が水没することなど、遠い話のような気がしますが、実は私たちの暮らしそのものがこの地球温暖化に大きく関わっていて、暮らしを足元から見直さないと止められないと思います。



会場の様子

◆電気の自由化って何？

私たちの暮らしの中で、エネルギーとしての電気の重要性は高まっています。これまで大手電力会社が電気を作り送り売っていたところ、消費者が自由に電気を選べるようになるということで始まったのが、小売全面自由化です。この電力システム改革の大きな目的は3つです。一つ目は、安定供給を確保することです。震災が起きるとなかなか電源の確保が難しくなります。できるだけ早く復旧して安定供給ができるよう、1つの大手電力会社だけに頼らないようにと考えました。二つ目は、競争を起こすことで、できるだけ電気料金の上げ幅を抑えようということでした。3番目が私たちに1番関係するものです。今までは、原子力の電気であっても、石炭で作った電気であっても私たちはそれを受け入れるしかなかったのですが、私たちが選択することで発電事業者も消費者のニーズに答えた発電や電気料金メニューを設定できるようになりました。事業者の事業化の選択を増やし、事業機会を増やす、これがこの3つ目の目的であり、社会のシステムを変えることにもつながったといえます。

◆再生エネルギーへの期待と課題

日本は総発電量の20%ほどを再生可能エネルギーが占め、その多くが水力発電です。海外は昼夜を問わず発電できる風力発電が主流ですが、日本は土地利用の限界から、風力や太陽光発電なども伸びていません。「再生可能エネルギーの価格が高いから」ともいわれますが、原子力発電の建設費や放射性廃棄物の処理費用、化石燃料の高騰から見た際、再生可能エネルギーの建設等のコストを見込んだとしても安定的に供給できるようになれば高いとは言えません。また、蓄電池などを活用した電力の有効利用、また電力使用の時間帯の調整（ピークシフト）で電力の不足を補完するといった行動も、新しい発電所建設に匹敵する効果があります。消費者も、知識、知恵を持つことが大切です。

◆私たち消費者にできること

家庭でできる節電方法もたくさんありますが、消費者には、ぜひデマンドレスポンス（電力の需要量と供給量を合わせること）に参加していただきたい。電気にも一生があります。電気は誰かがどこかで作って、運んでくれているから使えます。まずは使う時に、何で作られているのか、廃棄物はどうなっているのかなどに思いをはせ、電力を選んでほしいと思います。

(文責：事務局)

講演の後、秋元司代表幹事(民医連)から、消費者団体千葉県連絡会及び幹事団体の2023年度活動報告をおこない、閉会となりました。



秋元司代表幹事
(民医連)

《参加者の感想》

- ・お話が非常にわかりやすかった。消費者が現在や今後(省エネ、電気の選択の視点)など、具体的に提起していただいたのも良かったです。
- ・生活の中で電力について考えないまま、原発の怖さはある、これだけではいけないのでは…自然エネルギーの活用が、なかなか見えてこないのも事実です。
- ・電気製品の選び方や家庭での断熱など、考えるきっかけをもらいました。